

2022年度 日本工学院専門学校											
情報ビジネス科											
データ分析 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大野田 和弘			実務経験	有	職種	法人代表				
担当教員紹介											
担当教員は、30年間、ICTビジネス系の専門学校に所属し、ICTの知識や技術、資格試験対策、マネジメント系の知識や演習などの講師経験を持つ。また、企業相談役・研修講師として、マネジメントや人財評価・育成などの研修を数多く経験している。さらに、異業種交流会や法人会、NPOの理事として、地域のビジネス活性化にも寄与している。											
授業概要											
様々なデータから傾向を見つけだし、有益なデータをビジネス、とくにマーケティングデーとして活用するための手法について学ぶ。											
到達目標											
様々なデータから傾向を見つけだし、有益なデータをビジネス、とくにマーケティングデータとて活用するための手法を理解できる。											
授業方法											
データ分析するためにExcelを使用して、結果を出す。											
成績評価方法											
試験・課題	90%	試験と課題を総合的に評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。 また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。 授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	収集したデータの活用① 顧客の特徴分析調査①										
第2回	収集したデータの活用② 顧客の特徴分析調査②										
第3回	商品評価分析調査① 商品の評価、商品モニター分析、商品モニター分布①										
第4回	商品評価分析調査② 商品の評価、商品モニター分析、商品モニター分布②										
第5回	商品評価分析調査③ 商品の評価、商品モニター分析、商品モニター分布③										

2022年度 日本工学院専門学校	
情報ビジネス科	
データ分析 2	
第6回	売上分析調査① 顧客訪問数と売り上げの関係
第7回	売上分析調査② お菓子の人気ランキングと売り上げの関係
第8回	売上分析調査③ 商品売り上げの予測
第9回	他社製品との評価分析調査① 商品ごとの評価
第10回	他社製品との評価分析調査② 商品評価のばらつき
第11回	顧客分析調査① 性別の違い
第12回	顧客分析調査② 訪問回数の違い
第13回	顧客分析調査③ 訪問回数と経験で売り上げの関係
第14回	顧客分析調査④ 性別と職業による売り上げの関係
第15回	まとめ リフレクション